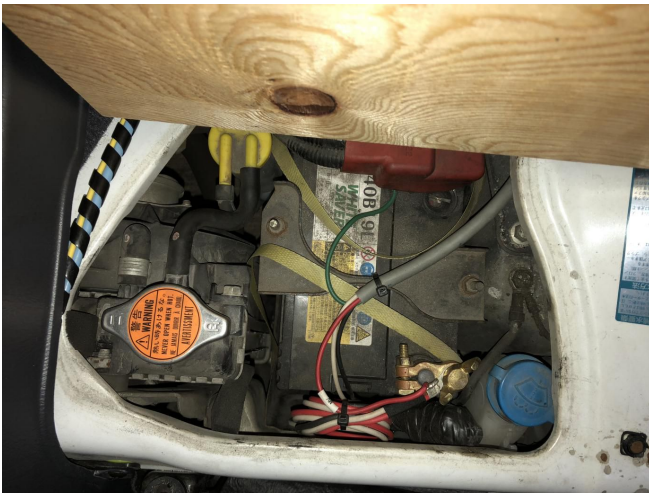
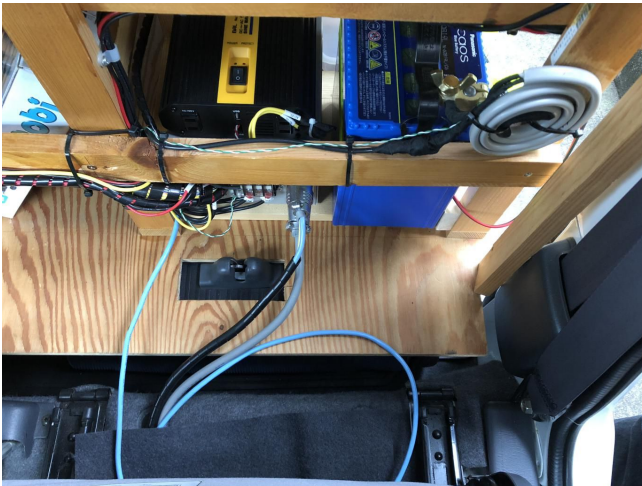


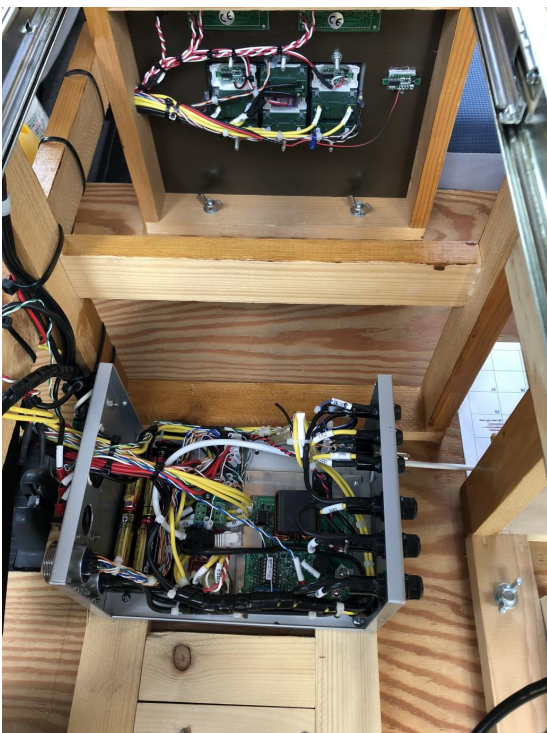
2018. 10 スバルサンバーに走行充電器 TC10B を組み込みました。



- 走行バッテリーからの取出  
サンバーは、助手席の下にバッテリーがある。  
スペースが狭く、シャント抵抗を収めるのに苦労をした。



- 走行バッテリーから走行充電器盤へのケーブル、運転席横の電圧、電流表示器への LAN ケーブル、ACC、車載ラジオ（サブバッテリーから電源供給）へのケーブル
- サブバッテリー、インバーター及び、シャント抵抗



- 手元にあったアルミボックスに無理やり走行基板を詰め込んだ。  
その他、充電オンオフ SW 基板 A、コネクタ基板、何時でもナビリレーを組み込んでいる。



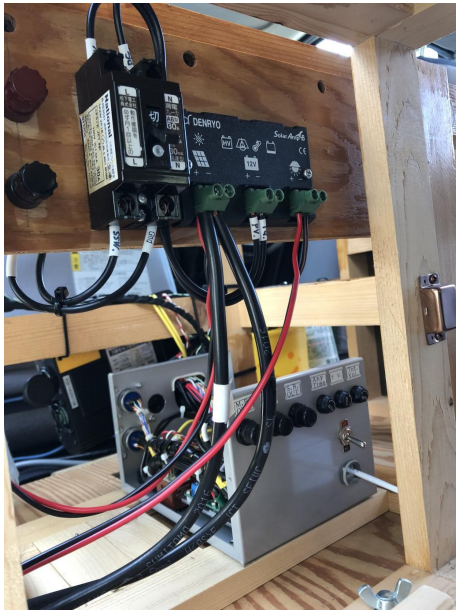
- 走行、サブバッテリーの電圧計及び、電流計  
各種スイッチ、USB（DC5V 電源）、AC100V  
太陽光電池の電圧計（赤色）。  
後ろに写る換気扇を含めて、まつらさんのホームページ  
を参考にして制作した。



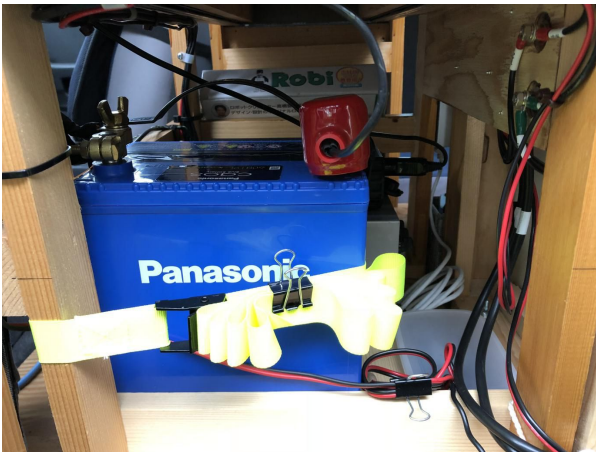
●運転席 サブバッテリー充電スイッチ



●運転席 電圧、電流計



- 太陽光電池用負荷開閉器、コントローラー
- アルミボックスのトグルスイッチは、走行充電基板の電源スイッチ。  
基板上のスイッチを外に取り出した。（非充電時に走行バッテリーの接続を切ることで、警報ブザーが鳴るのを止めるために、操作しやすいように設けた）



- サブバッテリー  
Panasonic 60B19L

#### ■その他取付及び、自作したもの



- 太陽光電池パネル  
RENOGY RNG-100MB 1枚  
2017.2月設置  
今のところ故障なく、発電している。
- 走行充電と太陽光電池による充電の切り替えは、手動で行っている。



- スライド式テーブル

サンバーは、セカンドシートが3:2で分割できるので、1名分のシートを残し、もう1名分は、収納している。



- 左は収納ボックス、右は折り畳み式台

この組み合わせで、1名分のベッドにする。床に、もう1名分確保。

- 天井には、貨物室を囲むようにカーテンレールを取り付けるための枠を設けた。



- テーブル・イスモード

少し、天井に頭があたるが・・・



- 台をたたんだ状態  
(折りたたんだ台は、床下に収納)

- 通信障害については、現在まで3週間程使用したが全く起きていない。
- 設定・表示器があるので、電圧、電流設定変更が簡単にできる。また、サブバッテリーの電圧、電流も表示されるので、充電状態が確認できる。

以前、自作キャンピングカーについてネットサーフィンをしている時に、まつらさんのホームページにたどり着きました。私の車も、軽貨物車で参考になると思い、隅々まで拝見させていただきました。走行基板及び、周辺の機器配線については、専門的過ぎて解からないところが多かったのですが、詳しく解説されていたので、設置することができました。その他、色々参考にさせていただきました。

とくに、シャント抵抗の作り方には、感動しました。安く、メイン、サブバッテリーの電流が確認できるようになったので、大変助かります。

私の場合、深放電はあまりしないので、20-30分ぐらいの走行充電でバッテリーは回復します。もう少し電気製品を増やし、快適性を増したいと思います。

今後とも、走行充電器のバージョンアップ及び、ホームページの更なる充実を期待しています。